

# 採用及び制作のプロとして 誰かの明日への架け橋になる

## 株式会社リブリッジ

**採択テーマ** 福祉の現場に採用マーケティングツールを導入し人手不足を解消

社名が象徴するように「人と人・人と企業の架け橋となり、社会に貢献する」という経営理念を掲げている人材サービス会社。人材プロデュース、インターネットメディア、キャリアコンサルティングの3つの事業を柱にしている。クライアントと求職者の双方の課題に寄り添い、その解決に資するサービスを積極的に提供し続けている。

**キーワード** Win-Winを考え・新たな価値を創造し・仕事を楽しむ



取締役：洲崎 敦さん



同社のホームページには、経営理念がしっかりと謳われ、社名のイメージとも響き合っている。

### ◆ 企業情報をもっと提供して人材のミスマッチを減らしたい

大切な「人材」が、ますます注目される時代。取締役の洲崎敦さんは、創業からの想いを「2014年当時は、人材業界ではIT化がそんなに進んでいませんでした。まだマッチングの作業も人手でやっている状況でしたから、そこにITを持ち込めないと考えたのです。企業の情報をもっと求職者に知ってもらい、人材のミスマッチを減らしたいという想いもありました」と語る。そこで開発したのが「ゲーカ」という、それぞれの会社の社風を全面的に打ち出す、新しい共感型の求人情報サイト。より会社の魅力を伝える情報を発信することができる。



自社開発の求人情報サイト「ゲーカ」における、自社紹介のページ。

### ◆ 介護の業界における採用難を解消するために一歩を踏み出す

こうした活動をベースに、今度は社会福祉業界へと踏み出し、介護職への就職・転職を支援する求人情報サイト「介護テラス」を生み出した。また、各社が採用のための自社サイトを持ちたいという声にも応えるため、革新的サービスの事業化支援を受けた。洲崎さんは「以前から介護の世界は採用難だという話は、よく聞いていました。これを解決するためにも支援を受けましたが、広告・マーケティングの部分も含めてサポートが受けられたのはよかったです。途中で動画を軸にする方向転換もありましたが、柔軟に対応してもらえました」と語る。



介護人材と介護事業所とをつなぐ求人情報サイト「介護テラス」。

### ◆ 動画という採用ツールでコロナ禍においても貢献したい

支援を受けながら、既にパイロット的に10サイトほどが実現した。同社には、採用のプロとしての強みとともに、WEBサイト制作、さらには動画制作のプロとしての強みもあり、そうした革新性も顧客からの信頼を得ている。「今後は動画の配信サービスをますます進化させ、それに対する評価などのリターンが見える形も考えています。また、動画は人と接触しなくてもできる採用ツールとして、コロナ禍のこの時代にもお役に立てるのではないのでしょうか」と洲崎さん。誰かの架け橋になりたいという想いがずっと、同社の仕事の原動力になっている。



人材のマッチングという、現代社会における重要なテーマに取り組んでいる会社です。独自のIT技術を活かしている強みもあり、サービスの差別化や新規性においても注目されます。また、介護の業界を支援するなどの社会貢献も引き続き期待されます。

#### 会社概要

所在地 ● 東京都千代田区岩本町3-2-2 千代田岩本ビル4F TEL ● 03-5809-2349 URL ● <https://www.rebridge.co.jp>  
代表取締役 ● 石松 明彦 設立 ● 2014年5月 資本金 ● 2,000万円